



第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会

日本美容皮膚科学会  
Japanese Society of Academic Dermatology

## スイーツセミナー1

# 患者が求める「キレイ」に応える ～治療と化粧指導～

【日時】 2024年8月31日(土) 15:20～16:20

【会場】 第3会場 (名古屋国際会議場 3号館3階 国際会議室)

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

### 座長

山本 有紀 先生

和歌山県立医科大学 病院教授  
和歌山県立医科大学 皮膚科 准教授

林 伸和 先生

虎の門病院 皮膚科部長

### 講演1

痤瘡瘢痕の治療について  
～それを支える化粧品～

鼻岡 佳子 先生

鼻岡けいこ皮膚科クリニック 院長

### 講演2

ニキビ患者への美容指導のポイント  
～改善させるスキンケア・メイクアップを考える～

野村 有子 先生

野村皮膚科医院 院長

ご記名・お問い合わせは、会場アンケート又は  
右記QRコードよりお願いいたします。



共催: 第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / アクセーヌ株式会社

# ACSEINE

## 痤瘡癍痕の治療について～それを支える化粧品～

### 鼻岡 佳子 先生 鼻岡けいこ皮フ科クリニック

近年、痤瘡の診療は様変わりし、アダパレンや過酸化ベンゾイルの登場で患者の多くはガイドラインに沿った治療方法で症状をコントロールできるようになった。癍痕を作らないためにこれらの治療が必要であることは言うまでもない。しかし、抗生剤や漢方薬の内服、上記の外用療法を行っても皮脂分泌が亢進している症例や集簇性痤瘡の治療には難渋することが多い。多くの重症症例は治療が長期間になると炎症後紅斑 (PIE) や炎症後色素沈着 (PIH)、陥凹性癍痕という痤瘡癍痕を形成する。その癍痕により患者のQOLが著しく下がる。当院では癍痕に対する自費診療の治療方法としては以下の選択肢がある。

- ・マイクロニードルRF (ポテンツァ®) の施術
- ・595nmパルス色素レーザー (Vbeam II®) の施術
- ・CO2マイクロサブシジョン注入器 (トライフィルプロ®) による施術

上記の3つの機器での痤瘡癍痕の治療にフォーカスをあてて解説する。

また施術後にこれらの治療を支える化粧品の選び方について発表する。今回紹介する化粧品に関しては、酒さやアトピー性皮膚炎に対しても使っており、それらを含めて症例提示を行う。

2003年 北里大学医学部卒業  
2003年 広島大学病院 皮膚科入局  
2004年 県立広島病院 皮膚科  
2007年 尾道総合病院 皮膚科  
2009年 湘南鎌倉総合病院 形成美容外科

2010年 土谷総合病院 皮膚科 科長  
2013年 広島大学 皮膚科、  
中電病院皮膚科レーザー担当医  
2018年 広島大学 医学博士取得 皮膚科助教  
2019年 鼻岡けいこ皮フ科クリニック 院長 現在に至る

## ニキビ患者への美容指導のポイント～改善させるスキンケア・メイクアップを考える～

### 野村有子 先生 野村皮膚科医院 院長

近年ニキビ治療は、保険診療における新薬の登場、自費診療においても施術のバリエーションが増え、選択肢が広がっている。一方で、効果的な治療を行っていても患者自身が行うケアに問題があると、治療効果は半減するどころか症状が悪化することにもなりかねない。疾患治療のゴールは治癒する事であるが、さらにその先には、よりきれいになりたいという思いをどの患者も持っている。そのそれぞれの思い描くゴールをアシストするためには、悩みを理解し、患者に寄り添った指導が重要だと考える。

ニキビを悪化させずに改善させるためのスキンケアには、コツがある。患者の肌質やニキビの重症度を考慮し、的確に判断した上で、患者一人一人にあった指導をすることで、見違えるようにきれいになる。

特にメイクアップ指導は、ニキビやアトピー性皮膚炎などの炎症性の皮膚疾患において、皮膚に負担をかけない方法で行うことで、低下しているQOLの改善に寄与できる報告が多数見受けられる。皮疹を隠すということだけではなく、患者が望む美をサポートできる点でも是非取り入れたい美容提案である。

本講演では、化粧品を用いたスキンケア・メイクアップの指導を、ニキビ患者に提供できる治療メニューの1つとして捉え、当院で採用している化粧品の使用例なども挙げながら、効果的な指導方法をお伝えしたい。

1986年 慶應義塾大学医学部 卒業  
1986年 慶應義塾大学医学部皮膚科教室 入局  
1988年 神奈川県警友会警友病院皮膚科  
1990年 慶應義塾大学医学部皮膚科 助手  
1992年 神奈川県警友会けいゆう病院皮膚科

1998年 野村皮膚科医院 開業  
2003年 チャリオタワーに医院を移転  
皮膚科のカフェ・アレルギー対応モデルルームを併設  
現在に至る